（郵信省認可）　（本號六面）　明治廿三年一月廿九日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千五百四十九號
明治廿三年一月廿九日　水曜日
舊暦己丑閏十二月九日（庚、戌）
日出午前六時四十五分　日入午後五時四分
月出午前十一時五十二分　月入午前零時五十五分
滿潮午前十一時二十八分　午後十一時五十六分
（西暦一千八百九十年）

時事新報

學理と實業と密着するの機會あり

學理實業曲もすれば相懸隔して密着の關係を失ふは古今萬國の通患にして我が日本國に於ては殊に甚ざしきものあるが如し蓋し日本古來の學者は所謂御儒者連にして口には治國平天下を講釋すれども世事に掛けては迂濶にして德川の世盛りに儒者の隊長と仰がれたる伊藤東涯先生が三味線箱を見て其何物なるかを知らざりしとの奇談もあり總じて學者連中には一風變りたる人物多く商工實業家の眼を以て見れば其日常の擧動に於て殆んど半狂とも申す可き個條少なからず漢學書生が衣は弁、袖は腕の裝束を爲して月落烏啼を吟じながら大手を振りて街道を往來するあどの有樣は本氣の沙汰とも思はれず襤褸を着て顧着せざるものあれば塵埃の中に居て之を意とせざるものもあり人の前にて虱を捫るは何とやら王猛を氣取るが如く瓢簞しば〳〵空しきは顔回の再生とや云はん何れも實業家の禁句に觸るゝ者にして當時農商工の徒が儒者の行狀を忌み嫌ひ隨て其學問をも違くるゝ至りたるは亦是非もなき次第、「三代目唐樣で書く賣屋敷」など云へる川柳は事の實際を寫し出して如何にも妙なり云々の感覺は今尚ほ人の腦鏡に映じて容易に磨滅す可からざるが故に今日文明の學問は理化學、生理、經濟、法律、居家處世實業萬端に密着して相離る可らざる者なるにも拘はらず學者は實業家を目するに無學無識を以てして共に語るゝ足らずと爲し實業家は學者の無經驗にして徒に理論に走るを見て之に近くとを好まず即ち今我が日本國にて學理實業の聯絡するゝと殊に甚だしき所以にして斯くては農工諸藝の發達固より期す可らざるが故に今後は事情の許す限り學者と實業家とを近づかしめ紺屋酒屋醬油醸等を理化學者と觸れ合せ農學者と老農、獸醫學者と馬口勞、建築學者と大工左官等を觸れ合はせ實地實物の前に於て各々その自得する所を示し學理は實驗の足らざるを補ひ實驗は學理の至らざるを助け兩々相待て相資明する所あらしめざる可らず今その方法如何と云へば固より種々樣々なれども近來各地鐵道の延長するを利して諸學者の大會を各地方に開き商工農業製造等等夫れ〳〵其實地に就き學者と實業家との意見を集めて學理實驗短長を取捨し以て其業務の改良を謀るゝと最も肝要なる可きなり抑も世界各國中にて學者集會の盛なるは「ブリチシ　アッシシエーション」即ち英國協會に若くものなし而して此協會は各地方の招待に應じて年々歲々その集會場を移しエヂンバラ、バッス、マンチエスター、バーミンガムへ等英國内の諸都府は勿論、現に數年前の如きは西の方大西洋を隔えて英領加奈陀モントリオル府に開會したるゝとさへあり斯くて年會を各地方に開けば數千の學者は其地に集まり凡そ一週間内は演說を爲し討論會を催はし學理實驗上に於て有益なる意見を公にするは勿論、土地の農工製造業家は之れを機會に諸學者を迎へ或は遊船或は紡績或は金銀諸細工より電氣諸機關に至るまで遍く工場を案内して夫れ〳〵其說の在る所を開き學者は實業場に入りて自から發明する所あり實業家は學理の適用を質問して更に利益する所あり是に於てか學理實業相離る可らざるを悟りて雙方密着の關係を生じ以てます〳〵其改良進歩を促すは文明學者集會の効益、國家實業の發達の爲めに明暗隱顯その助勢する所、實に莫大なるを知る可し左れば今我が日本に於ても學者の集會を一處に限らず之れを其向きの地方に開きて夫れ〳〵實地家との關係を求め彼の織物地方なる京都に桐生足利に又釀酒地方なる灘伊丹尼州智多郡近傍には理化學會の集會を開き京都奈良には美術家の會合を催はし地震學者は信州肥後若くは磐梯山畔に會して繰返の地方に寄り集まれば學問の研究も實際を離れず其研究論議の間に面白き結果を得るともある可し且つ西洋の事例に倣て申せば斯かる集會を開くの際には鐵道會社にても心を致して幾分か其運賃を割引し何々會員の證票を有して何々地方に赴くものには乘車賃錢の幾割を減ずる可しなど云へる特約を許すを常とするが故に我が鐵道會社に於ても社會公益の爲めとあれば一時此等の特例を發す可きは我盟の信じて疑はざる所にして諸學者地方に集會するには大に鐵道を利用するとを得べく又各地方の實業家も共事業上に就き學者の所見を聞くとを願ひ喜んで之を優待して從來相互に懸隔したる學理實業の密着を緣は我國目下の急務なりと云ふ可し時に此急務に聯帶して我が學者實業家の最も注意す可き者は本年内國博覽會開場の機會即ち是れなり蓋し本年の博覽會は所謂國家事業にして遠年我が人文の進歩と共に赤會有の盛觀を呈す可きと固より言を待たざるが故に日本全國の實業家殊に其出品者は必ず參觀するゝとならんあれば此機に乘じて學者農工製造業家は其向きの會合を東京に開き博覽會の出品等に就き互に相論評研究するの工風を運らすと最も肝要なる可し蓋し文明國人は斯かる多人數集會の時機を空うせず昨年佛國大博覽會の際にも何々會議、何々集會など稱して開場六箇月中に巴里府に開會したる者その幾十百なるを知らず左れば我國の其會合の時を定めて成る可く同時に參會せしめ博覽會に出入して出品實物を目擊するの傍、夫れ〳〵其論評奬勵の道を盡したらば學理實業密着して農工製作諸事業上改良發達を促すと必ず著明なるものある可し我輩は我國都鄙の人々が今より其方法を講じて時機を空うせざらんと偏に希望に堪へざるなり

雜報

○歐洲通信　獨逸伯林にて　飯田旗郎氏寄送

日、獨會に臨んで感あり

伯林に滯在する日本人は去る十一月三十日を以て同府内東洋語學校の日本語學生を招待し親親の宴會を一料理店の樓下に開きたりあれは兼て右の語學生諸氏が後來其學ぶ所を應用するの緣故もあり殊に我日本の人々と懇親を結ばんが爲め一堂の内に杯を交さんとて會て在伯林の日本人を招きたる事なり即ちそれに對する返禮なりと云ふ余が伯林に來りしは尚ほ昨今の事あるが故に先きの獨逸學生諸氏よりの招待には預らざりしかども其返禮は全體日本人よりと云ふの趣意なる由を以て其席末に到り日、獨混交の味を試むるとを得たり

會席はルイセン街の三層樓にして室内は例の如く兩國の國旗を以て飾し其間に蒼々たる盆栽を配置し體裁中々奇麗なり會合の時間は午後九時半なりしがとも余等は他に據なき用向ありし爲め後れて參會したるに其頃は既に場内會員を以て充滿し恰も星亭氏の演說最中なりし我西園寺公使も特に來場あり、公使の來場を名譽として謝意を陳べたる獨逸學生總代の演說あり之に對する公使の佛語演說あり其他幹事應當氏久保氏三好退藏氏外日高眞實氏等各々立つて祝詞を陳ぶ

獨逸人の招待に應じて來場せしもの十數名此も同じく交る〳〵立ちて演說し例のホラーを稱へ萬歲を呼び十一時頃よりはそろ〳〵レヤンパン、プンチ、葡萄酒、麥酒等各々好む所の酒を催して露には主客席を離れ互ひに相往來し國々の獻酬所々に酣なるに至り此よりは無禮講にて都々一、端唄、藤八、玄ゑく等の餘念なきものあり主客總べて興に入りたれども取分け主人の位置にあるもの最も愉快げに見受けられ肝心の御客さまはウロ〳〵として呆氣に取られし如き勢ありしはチト可笑からざるにもあらざりし斯くして全く退散したるは翌朝四時過る頃にして中々盛んなる宴會ありし

伯林の東洋學校は千八百八十七年十月の創立にかゝり專ら東洋諸國の言語、風俗、地理、歷史、宗教等を講究する所にして伯林大學の附屬なり敎ゆる所の語學は東洋の八語即ち日本、支那（北京と廣東との二音に分つ）印度、波斯、亞剌比、埃及、土耳希里、新希臘是なり日本語を學ぶもの十八名此人々は大抵習法律家にて後來日本に派遣され公使館若くは領事館附の官吏たらんと希望するもの其他日本に商業を開んとするの壯者等あり余は宴會の當夜試みに日本語學生に向つて日本語を話しかけたるに就れも何らか彼らか通ずる樣子あり尤も自分より話し掛ける事は尚は六ケ敷臨梅あれども兎に角に歐洲の眞中にて西洋人多數の口より日本語を聞くは他に類を見ざる事なり我盟は之を珍らしく感ずると同時に獨逸人民の活潑なるに感じ獨逸帝國の宇内に翹飛するを成程と思はざるとを能はず今や獨逸帝國内の形勢を考ふるにウィルヘルム一世の一統以來各聯邦の王侯皆其威德に服し其子フリードリヒ三世大英國女王の内親王と娶して大英國の關係を廣くしシュレスウイッヒ　ホルスタイン州を一抹より分捕りて其州民を慰撫し從服せしめんが爲め右シュレスウイッヒ　ホルスタイン公の姫を擧げて今帝の皇后とし佛國より得たるアルサス、ローレン州には特に重きを置きて皇帝屬々親臨し且特別の例を下す等精を勵し治を圖り宵衣旰食の勞空しからず人心實に帝德に服したれば聯邦一統の大業既に成就して敢て「時は今」云々と光秀の例に倣ふものなし窓に目出度き帝室と云ふべし我盟は外の見目より坐ろに其萬歲を唱ふるものあり　（未完）

○電信開通　東海道鐵道の線路中沼津停車場より御殿場停車場へ達する往復線路は目下工事中なるが其中間ある佐野停車場へは一昨二十七日より電信を通ずるみとになりしと

○一府十九縣酒造業聯合懇親會の計畫　常陸大和田良次郎、石橋興三郎、七兵衛、東京工業雜誌社の人茨城、福島、宮城、野、靜岡、新潟者と來る三月と目下計畫中なり如く聯合して經濟の攻究の人身に無害らしむる事、らしむる事等に付爲く事等に付爲

○王子抄紙部　充分なる見込轉とする必要は之を削除す

○京都博覽會　を始めとして實業奬勵博覽會あ各地の人京都會にても共れ同博覽會社長々の協議を密術博覽會と稱さて六十日間全國實物取調下したるものし尚ほ縱覽人は光格帝御を設けたる旨事外故人の仁濟、李米、龍管にて出品奬するよし兎に

○町會の奇聞　失官等隨分奇は町會の奇聞議案の討議中れは議員中二し議會へ提出目なる顏色に

は其組問議員哲ゑ笑を忍び

に掛りし時一

は町長の不行

を非難する中

して町長の失

に付町長は行

るが斯る場合

問ひければ議

と答ふるや其

ゑ蓋出すやう

なすべしと議

したるよし

○山城丸　は